

産業保健論	3年・後期	2単位 30時間	非常勤講師 石原真衣
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33420963

### 1. 授業のねらい・概要

学生は、発展変化する産業構造と労働環境の中で働く人々の健康を支援するために、職業生活を支える労働衛生管理のあり方を学ぶ。また、労働と健康の両立を支える産業保健活動の実際と、健康の保持増進のための看護支援の方法について学び、産業看護職としての視点や考え方、支援の実際について理解できるようになることを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 産業保健と産業看護の歴史を知り、ポイントを2点述べることができる。(D-2)
2. 産業保健および産業看護の重要性を自分の言葉で簡潔に説明することができる。(D-2)
3. 労働衛生の現状、産業保健活動の現状を自分なりにイメージすることができる。(D-2)
4. 産業の場の特徴や職業性疾病、働く人の抱える健康問題を3つ以上あげることができる。(D-2)
5. 産業看護職の役割や活動の実際を理解し、実際に自分が働くことを想像できる。(D-2)
6. 働く人々や企業全体が健康であるために、産業看護職がどのような活動を行うことがよいのかを考えることができる。(D-②)
7. 産業保健と地域保健との連携について、必要性を自分の言葉で述べることができる。(D-3)

### 3. 授業の進め方

テキスト内容および関連資料、最新の情報や動向などを盛り込み作成したパワーポイントを中心に、講義を行う。

視聴覚教材も積極的に活用し、興味や理解を深められるようにする。

個人ワークやロールプレイなども取り入れる。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、対話・論議型授業、ロールプレイを用いる。

#### 【ICT活用の有無】

ICTは活用しない。

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	産業保健・産業看護の理念と歴史	講義	予習：テキスト第1章を読み、わからない言葉を調べる。 復習：産業保健・産業看護の目的と理念、歴史のポイントをまとめる。	石原真衣
2	活動の場と対象者の理解①：産業活動の場、労働者の特徴と健康支援	講義	予習：テキスト第2章(1)(2)を読み、わからない言葉を調べる。 復習：産業保健活動をする場、高年齢労働者や女性労働者の特徴と健康支援をまとめる。	石原

3	活動の場と対象者の理解②：労働者の特徴と健康支援，3 管理と健康経営	講義	予習：テキスト第 2 章 (3) (4) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：外国人や障害をもつ労働者，非正規労働者の特徴と健康支援をまとめ，3 管理と健康経営について理解する。	石原
4	産業保健・産業看護の実態	講義	予習：テキスト第 3 章を読み，わからない言葉を調べる。 復習：産業保健，産業看護の統計から見える現状についてまとめる。	石原
5	産業保健活動に必要な知識	講義	予習：テキスト第 4 章を読み，わからない言葉を調べる。 復習：労働安全衛生法などの関連法規，労働生理や人間工学のポイントについてまとめる。	石原
6	産業看護活動の基本と役割①：リスクアセスメント・リスクマネジメントと職業性疾患	講義	予習：テキスト第 5 章 (1) ~ (3) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：リスクアセスメントについて理解し，産業疲労や職業性疾病の予防と対策，産業看護活動のポイントについてまとめる。	石原
7	産業看護活動の基本と役割②：作業関連疾患，労働者の健康問題	講義	予習：テキスト第 5 章 (4) (5) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：作業関連疾患や労働者の様々な健康問題への予防と対策，産業看護活動のポイントについてまとめる。	石原
8	個人・集団／組織への産業看護活動の実際①：産業保健計画の立て方，健康診断と疾病管理	講義	予習：テキスト第 6 章 (1) (2) (5) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：健康診断の種類と産業看護職の役割，疾病管理における看護職の役割を理解する。	石原
9	個人・集団／組織への産業看護活動の実際②：健康相談，健康づくり	講義 演習	予習：テキスト第 6 章 (3) (4) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：産業の場での様々な健康相談事例を振り返り，保健指導を含めた産業看護職の支援のポイントを理解する。	石原
10	個人・集団／組織への産業看護活動の実際③：メンタルヘルスケア	講義 演習	予習：テキスト第 6 章 (6) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：メンタルヘルスケアの具体的な方法とストレスチェック実施後の役割を確認する。	石原
11	個人・集団／組織への産業看護活動の実際④：安全管理と救急処置の産業看護職の役割	講義	予習：テキスト第 6 章 (7) (8) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：職場の安全管理とは何か，救急処置と産業看護職の役割についてポイントをまとめる。	石原
12	個人・集団／組織への産業看護活動の実際⑤：労働衛生教育と職場巡視	講義 演習	予習：テキスト第 6 章 (9) (10) を読み，わからない言葉を調べる。 復習：産業の場で必要な労働衛生教育と職場巡視について，講義中に実施したワークを振り返りポイントをまとめる。	石原
13	産業看護活動における連携	講義	予習：テキスト第 7 章を読み，わからない言葉を調べる。 復習：授業内容を振り返り，職域と地域連携の必要性について理解する。	石原
14	医療・福祉・保健現場で働く看護職の健康課題と予防対策	講義	予習：テキスト第 8 章を読み，わからない言葉を調べる。 復習：授業内容を振り返り，各現場で働く看護職の健康課題と予防対策をまとめる。	石原

15	産業保健・産業看護の動向と産業看護活動の課題	講義	予習：テキスト第9章を読み，わからない言葉を調べる。 復習：授業内容を振り返り，国内外の産業保健と産業看護活動の現状の理解，展望と課題についてまとめる。	石原
----	------------------------	----	---	----

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上出席した者）90%，講義中のワーク内容10%，および平常点と合わせて総合的に評価する。

定期試験は合格基準（60%）に満たない場合は，単位認定できない。

成績評価については，「2. 学修の到達目標」の達成状況を，ルーブリック評価表を基に評価する。尚，ルーブリック評価表についての詳細は，第1回講義内で別途説明する。

講義中のワークについては，実施当日に回収する。

定期試験については，テキスト，配布プリント，ノート類の持込を可とする。

定期試験の出題範囲および出題方法は，講義中に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：河野啓子著 産業看護学 第3版 2025年11月改訂 日本看護協会出版会

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について，90分程度の予習と90分程度の講義内容の復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業と関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするため注意すること。

授業への主体的，意欲的な参加を重要としているため，積極的な発言と他者の意見や考えも大切に学びを深めること。

テキストからは読み取りにくい，現場での実際の活動や課題などを紹介するため，講義は集中して聞くこと。

講義中にワークを1～2回実施し，当日確認または回収する。

該当講義に欠席した場合は，同内容を課題として提出してもらう。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施後，解答などを掲示する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

保健師教育課程必修科目であり，修得できない場合は保健師国家試験受験資格が不可となる。

## 11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政機関における保健師と企業における産業保健師の実務経験を活かして，講義・演習を行う。